

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年4月26日

【四半期会計期間】 第34期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社中広

【英訳名】 CHUCO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 後藤 一俊

【本店の所在の場所】 岐阜県岐阜市東興町27番地

【電話番号】 058-247-2511(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 松田 隆

【最寄りの連絡場所】 岐阜県岐阜市東興町27番地

【電話番号】 058-247-2511(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 松田 隆

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月14日に提出いたしました第34期第2四半期報告書（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）について、訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

第4 【経理の状況】

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(2) 【四半期損益計算書】

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

| 回次 | | 第33期 第2四半期累計期間 | 第34期 第2四半期累計期間 | 第33期 |
|------------------------------|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日 | 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日 | 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 1,928,462 | 2,076,034 | 3,941,807 |
| 経常利益 | (千円) | 54,164 | <u>78,075</u> | 114,406 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 41,458 | <u>60,654</u> | 84,172 |
| 持分法を適用した 場合の投資利益 | (千円) | - | - | - |
| 資本金 | (千円) | 378,950 | 378,950 | 378,950 |
| 発行済株式総数 | (株) | 6,706,000 | 6,706,000 | 6,706,000 |
| 純資産額 | (千円) | 489,374 | <u>582,632</u> | 536,411 |
| 総資産額 | (千円) | 2,281,770 | 2,302,103 | 2,314,124 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 | (円) | 6.48 | <u>9.38</u> | 13.15 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | - | - | - |
| 1株当たり配当額 | (円) | - | - | 3.00 |
| 自己資本比率 | (%) | 21.4 | <u>25.3</u> | 23.1 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 36,004 | 78,741 | 124,902 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 33,169 | 62,464 | 16,771 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 56,297 | 85,710 | 120,941 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 204,314 | 175,531 | 244,965 |

| 回次 | | 第33期 第2四半期会計期間 | 第34期 第2四半期会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日 | 自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 4.44 | <u>7.58</u> |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結経営指標等については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

| 回次 会計期間 | 第33期 第2四半期累計期間 | | 第34期 第2四半期累計期間 | | 第33期 | |
|----------------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|------|---------------------------|
| | 自 | 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日 | 自 | 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日 | 自 | 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日 |
| 売上高 (千円) | | 1,928,462 | | 2,076,034 | | 3,941,807 |
| 経常利益 (千円) | | 54,164 | | <u>78,061</u> | | 114,406 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | | 41,458 | | <u>25,821</u> | | 84,172 |
| 持分法を適用した 場合の投資利益 (千円) | | - | | - | | - |
| 資本金 (千円) | | 378,950 | | 378,950 | | 378,950 |
| 発行済株式総数 (株) | | 6,706,000 | | 6,706,000 | | 6,706,000 |
| 純資産額 (千円) | | 489,374 | | <u>547,800</u> | | 536,411 |
| 総資産額 (千円) | | 2,281,770 | | 2,302,103 | | 2,314,124 |
| 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | | 6.48 | | <u>3.99</u> | | 13.15 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | - | | - | | - |
| 1株当たり配当額 (円) | | - | | - | | 3.00 |
| 自己資本比率 (%) | | 21.4 | | <u>23.7</u> | | 23.1 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | | 36,004 | | 78,741 | | 124,902 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | | 33,169 | | 62,464 | | 16,771 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | | 56,297 | | 85,710 | | 120,941 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円) | | 204,314 | | 175,531 | | 244,965 |

| 回次 会計期間 | 第33期 第2四半期会計期間 | | 第34期 第2四半期会計期間 | |
|-------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|
| | 自 | 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日 | 自 | 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | | 4.44 | | <u>5.22</u> |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結経営指標等については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に立ち直りつつあるものの、ギリシャに端を発する欧州の財政不安や、それに伴う円高の進行等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社におきましては、広告代理業からメディア企業への業態転換をさらに推進いたしました。平成23年5月31日に三重県名張市に名張支局を開設し、同支局より8月29日に地域みっちゃく生活情報誌『リーガ』（三重県名張市・伊賀市）を創刊いたしました。

また、既存の発行エリアにおきましても、地域みっちゃく生活情報誌『G i F U T O』（岐阜県岐阜市近郊）・『よっかいち a i』（三重県四日市市）・『つうぴーず』（三重県津市）等で配布エリアを拡大し、当事業年度目標のフリーマガジン総発行部数200万部達成に向けて事業展開いたしました。

その結果、売上高は2,076,034千円（前年同四半期比7.6%増）となり、売上総利益は868,762千円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、当事業年度の事業計画に沿って人材補強を図ったことから人件費が増加し789,667千円（前年同四半期比16.7%増）となりましたが、営業利益は79,095千円（前年同四半期比24.0%増）となり、助成金収入10,830千円を営業外収益として計上したことから、経常利益は78,075千円（前年同四半期比44.1%増）となりました。

なお、投資有価証券評価損6,578千円を特別損失として計上したこと等から、四半期純利益は60,654千円（前年同四半期比46.3%増）となりました。

(訂正後)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に立ち直りつつあるものの、ギリシャに端を発する欧州の財政不安や、それに伴う円高の進行等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社におきましては、広告代理業からメディア企業への業態転換をさらに推進いたしました。平成23年5月31日に三重県名張市に名張支局を開設し、同支局より8月29日に地域みっちゃく生活情報誌『リーガ』（三重県名張市・伊賀市）を創刊いたしました。

また、既存の発行エリアにおきましても、地域みっちゃく生活情報誌『G i F U T O』（岐阜県岐阜市近郊）・『よっかいち a i』（三重県四日市市）・『つうぴーず』（三重県津市）等で配布エリアを拡大し、当事業年度目標のフリーマガジン総発行部数200万部達成に向けて事業展開いたしました。

その結果、売上高は2,076,034千円（前年同四半期比7.6%増）となり、売上総利益は868,762千円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、当事業年度の事業計画に沿って人材補強を図ったことから人件費が増加し789,681千円（前年同四半期比16.7%増）となりましたが、営業利益は79,081千円（前年同四半期比24.0%増）となり、助成金収入10,830千円を営業外収益として計上したことから、経常利益は78,061千円（前年同四半期比44.1%増）となりました。

なお、投資有価証券評価損6,578千円を特別損失として計上したこと、法人税及び住民税等を45,661千円計上したこと等から、四半期純利益は25,821千円（前年同四半期比37.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べて12,020千円減少し、2,302,103千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が46,214千円増加したものの、その他流動資産が54,304千円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末と比べて58,242千円減少し、1,719,470千円となりました。これは主に賞与引当金が16,000千円増加したものの、長期借入金が67,622千円減少したこと等によるものであります。

純資産は前事業年度末と比べて46,221千円増加し、582,632千円となりました。これは主に、配当金により利益剰余金が19,389千円減少したものの、四半期純利益を60,654千円計上したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における自己資本比率は25.3%であります。

(訂正後)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べて12,020千円減少し、2,302,103千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が46,214千円増加したものの、その他流動資産が54,304千円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末と比べて23,409千円減少し、1,754,302千円となりました。これは主に賞与引当金が16,000千円、未払法人税等が26,123千円増加したものの、長期借入金67,622千円減少したこと等によるものであります。

純資産は前事業年度末と比べて11,388千円増加し、547,800千円となりました。これは主に、配当金により利益剰余金が19,389千円減少したものの、四半期純利益を25,821千円計上したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における自己資本比率は23.7%であります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

(訂正前)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、78,741千円(前年同四半期比118.7%増)となりました。これは主に、売上債権が42,738千円増加したことや仕入債務が23,040千円減少したものの、税引前四半期純利益71,496千円を計上し、破産更生債権等が59,693千円減少したことによるものであります。

(訂正後)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、78,741千円(前年同四半期比118.7%増)となりました。これは主に、売上債権が42,738千円増加したことや仕入債務が23,040千円減少したものの、税引前四半期純利益71,483千円を計上し、破産更生債権等が59,693千円減少したことによるものであります。

第4 【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】
(訂正前)

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 364,004 | 340,779 |
| 短期借入金 | 572,000 | 582,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 128,820 | 118,776 |
| 未払法人税等 | 22,175 | 13,466 |
| 賞与引当金 | 32,000 | 48,000 |
| その他 | 119,865 | 131,511 |
| 流動負債合計 | 1,238,865 | 1,234,533 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 527,642 | 460,020 |
| その他 | 11,204 | 24,916 |
| 固定負債合計 | 538,846 | 484,936 |
| 負債合計 | 1,777,712 | 1,719,470 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 378,950 | 378,950 |
| 資本剰余金 | 69,450 | 69,450 |
| 利益剰余金 | 107,882 | 149,147 |
| 自己株式 | 15,592 | 15,592 |
| 株主資本合計 | 540,690 | 581,955 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,278 | 677 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,278 | 677 |
| 純資産合計 | 536,411 | 582,632 |
| 負債純資産合計 | 2,314,124 | 2,302,103 |

(訂正後)

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 364,004 | 340,779 |
| 短期借入金 | 572,000 | 582,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 128,820 | 118,776 |
| 未払法人税等 | 22,175 | 48,299 |
| 賞与引当金 | 32,000 | 48,000 |
| その他 | 119,865 | 131,511 |
| 流動負債合計 | 1,238,865 | 1,269,366 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 527,642 | 460,020 |
| その他 | 11,204 | 24,916 |
| 固定負債合計 | 538,846 | 484,936 |
| 負債合計 | 1,777,712 | 1,754,302 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 378,950 | 378,950 |
| 資本剰余金 | 69,450 | 69,450 |
| 利益剰余金 | 107,882 | 114,315 |
| 自己株式 | 15,592 | 15,592 |
| 株主資本合計 | 540,690 | 547,122 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,278 | 677 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,278 | 677 |
| 純資産合計 | 536,411 | 547,800 |
| 負債純資産合計 | 2,314,124 | 2,302,103 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】
(訂正前)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,928,462 | 2,076,034 |
| 売上原価 | 1,188,243 | 1,207,271 |
| 売上総利益 | 740,219 | 868,762 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,676,458 | 1,789,667 |
| 営業利益 | 63,760 | 79,095 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,367 | 495 |
| 受取配当金 | 428 | 473 |
| 受取賃貸料 | 7,745 | 5,266 |
| 助成金収入 | 2,830 | 10,830 |
| その他 | 2,112 | 1,816 |
| 営業外収益合計 | 14,484 | 18,882 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,488 | 11,873 |
| 賃貸費用 | 6,848 | 3,832 |
| その他 | 2,743 | 4,196 |
| 営業外費用合計 | 24,080 | 19,902 |
| 経常利益 | 54,164 | 78,075 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 2,635 | 6,578 |
| 特別損失合計 | 2,635 | 6,578 |
| 税引前四半期純利益 | 51,529 | 71,496 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,070 | 10,842 |
| 法人税等合計 | 10,070 | 10,842 |
| 四半期純利益 | 41,458 | 60,654 |

(訂正後)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,928,462 | 2,076,034 |
| 売上原価 | 1,188,243 | 1,207,271 |
| 売上総利益 | 740,219 | 868,762 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,676,458 | 1,789,681 |
| 営業利益 | 63,760 | 79,081 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,367 | 495 |
| 受取配当金 | 428 | 473 |
| 受取賃貸料 | 7,745 | 5,266 |
| 助成金収入 | 2,830 | 10,830 |
| その他 | 2,112 | 1,816 |
| 営業外収益合計 | 14,484 | 18,882 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,488 | 11,873 |
| 賃貸費用 | 6,848 | 3,832 |
| その他 | 2,743 | 4,196 |
| 営業外費用合計 | 24,080 | 19,902 |
| 経常利益 | 54,164 | 78,061 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 2,635 | 6,578 |
| 特別損失合計 | 2,635 | 6,578 |
| 税引前四半期純利益 | 51,529 | 71,483 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,070 | 45,661 |
| 法人税等合計 | 10,070 | 45,661 |
| 四半期純利益 | 41,458 | 25,821 |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 51,529 | 71,496 |
| 減価償却費 | 13,344 | 11,980 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 8,371 | 879 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 24,000 | 16,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,795 | 969 |
| 支払利息及び社債利息 | 14,488 | 11,873 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 2,635 | 6,578 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 43,193 | 42,738 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 1,883 | 3,996 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 84,974 | 23,040 |
| 破産更生債権等の増減額(は増加) | 4,680 | 59,693 |
| その他 | 9,749 | 1,247 |
| 小計 | 54,479 | 109,003 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,767 | 514 |
| 利息の支払額 | 15,751 | 11,479 |
| 法人税等の支払額 | 4,490 | 19,296 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 36,004 | 78,741 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 76,000 | 91,788 |
| 定期預金の払戻による収入 | 45,253 | 32,788 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 2,244 | 2,565 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,195 | - |
| 差入保証金の差入による支出 | 521 | 1,059 |
| 差入保証金の回収による収入 | 206 | 255 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,659 | 100 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 14 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 6,000 | - |
| その他 | 10 | 10 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 33,169 | 62,464 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | - | 10,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | 50,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 56,064 | 127,666 |
| 社債の償還による支出 | 100,105 | - |
| リース債務の返済による支出 | - | 1,651 |
| 自己株式の取得による支出 | 74 | - |
| 配当金の支払額 | 54 | 16,393 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 56,297 | 85,710 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 53,461 | 69,434 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 257,776 | 244,965 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1 204,314 | 1 175,531 |

(訂正後)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 51,529 | 71,483 |
| 減価償却費 | 13,344 | 11,980 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 8,371 | 879 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 24,000 | 16,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,795 | 969 |
| 支払利息及び社債利息 | 14,488 | 11,873 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 2,635 | 6,578 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 43,193 | 42,738 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 1,883 | 3,996 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 84,974 | 23,040 |
| 破産更生債権等の増減額(は増加) | 4,680 | 59,693 |
| その他 | 9,749 | 1,261 |
| 小計 | 54,479 | 109,003 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,767 | 514 |
| 利息の支払額 | 15,751 | 11,479 |
| 法人税等の支払額 | 4,490 | 19,296 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 36,004 | 78,741 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 76,000 | 91,788 |
| 定期預金の払戻による収入 | 45,253 | 32,788 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 2,244 | 2,565 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,195 | - |
| 差入保証金の差入による支出 | 521 | 1,059 |
| 差入保証金の回収による収入 | 206 | 255 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 1,659 | 100 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 14 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 6,000 | - |
| その他 | 10 | 10 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 33,169 | 62,464 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | - | 10,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | 50,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 56,064 | 127,666 |
| 社債の償還による支出 | 100,105 | - |
| リース債務の返済による支出 | - | 1,651 |
| 自己株式の取得による支出 | 74 | - |
| 配当金の支払額 | 54 | 16,393 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 56,297 | 85,710 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 53,461 | 69,434 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 257,776 | 244,965 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1 204,314 | 1 175,531 |

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

(訂正前)

記載なし

(訂正後)

| 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日) |
|-----------------------|---|
| — | 国税の税務調査に関連して発生したものが、次のとおり含まれております。 未払法人税等 34,832千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------|
| | メディア事業 | 広告SP事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,174,525 | 901,508 | 2,076,034 | | 2,076,034 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | | | | | |
| 計 | 1,174,525 | 901,508 | 2,076,034 | | 2,076,034 |
| セグメント利益 | 159,253 | 110,910 | 270,163 | 191,067 | 79,095 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|-------------|-------------------------|
| | メディア事業 | 広告SP事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,174,525 | 901,508 | 2,076,034 | | 2,076,034 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | | | | | |
| 計 | 1,174,525 | 901,508 | 2,076,034 | | 2,076,034 |
| セグメント利益 | 159,253 | 110,910 | 270,163 | 191,081 | 79,081 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

| 項目 | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 6円48銭 | 9円38銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 41,458 | 60,654 |
| 普通株主に帰属しない金額 | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 41,458 | 60,654 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,391,739 | 6,463,135 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

| 項目 | 前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 6円48銭 | 3円99銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 41,458 | 25,821 |
| 普通株主に帰属しない金額 | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 41,458 | 25,821 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,391,739 | 6,463,135 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 4月26日

株式会社中広
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田光明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石崎勝夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中広の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第34期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中広の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期財務諸表に対して平成23年11月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

-
- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。